

カフェ×ひと・まち・文化
～ “交差点” をつくる～

まちと公共施設の未来をともに創造する
小千谷リビングラボ

第15回 「at！おぢや」

未来の体験を想像しよう！

開催報告

概要

この事業では、施設の整備段階から、市民のみなさんと行政が新しい施設の活用方法や地域の価値・課題などについてともに考えていく場として、小千谷リビングラボ「at！おぢや」を立ち上げ、継続的な活動を通じてオープン後の施設活用と中心市街地の活性化につなげていくことを目指しています。また、このたび、施設愛称も「ホントカ。」に決定しました。

第15回となる今回は、「ホントカ。」のカフェ運営事業者に決定した「NISCIRO」（小千谷市片貝町）吉井和樹さんと、この事業で先進事例として参考にする須賀川市民交流センターtette（福島県）にて、開館時にカフェの始動や市民協働支援に関わった(株)スタイルウォーターの青木佑子さん、開館時のカフェ運営者であったOrdinary Coffee Roasterの齋藤佑二さんをお招きし、これからの公共施設におけるカフェと「ひと」「まち」「文化」が交わる可能性について考えました。

実施日時 : 令和 5 年 11 月 30 日 (月) 19 時 00 分～21 時 00 分

実施会場 : 総合産業会館サンプラザ 3階大ホール

参加者 : 50名

- ・一般参加者 (37名)
- ・小千谷市役所職員
- ・アカデミック・リソース・ガイド(株) (arg) ※施設運営準備支援業務受託者

配付資料 : ・第15回小千谷リビングラボ「at！おぢや」「まちと公共施設の未来をともに創造する」
・座談会「カフェ×ひと・まち・文化～交差点をつくる～」アンケート
・うみつづりフライヤー・アンケート、The dadysフライヤー ※ゲスト（青木氏）配布資料

1. あいさつ・事業説明：小千谷市 (19:00~19:10)



開場・受付後に、ゲストの3名からコーヒー／ハーブティーが参加者にふるまわれ、それを片手にat！おぢやが開始しました。

主催者である小千谷市のあいさつで、今年9月末に決定した施設の愛称「ホントカ。」について紹介しました。



2. オリエンテーション：arg (19:10～19:18)



今年度実施したプロポーザル

情報環境構築業務 公募型プロポーザル

図書館等複合施設で利用する**情報環境の構築を行う事業者**について、公募型プロポーザルを実施しました。

選定事業者

おぢや複合施設プロジェクト共同企業体

カフェ運営事業者公募型プロポーザル

図書館等複合施設内の**カフェ運営事業者**について、公募型プロポーザルを実施しました。

選定事業者

NISCIRO



この事業で大切にしているキーワード「共創」や小千谷リビングラボ「at！おぢや」の目指すものの説明とともに、これまでを振り返りました。また、今回のテーマについて説明を行いました。



小千谷リビングラボ「at！おぢや」のこれまで (2022年度)

まちと公共施設の未来をともに創造する
第13・14回小千谷リビングラボ「at！おぢや」

「わたしたちの施設」の
愛称を考えよう！

ひと箱の本棚づくりから
「わたしの世界（テーマ）」を
表現しよう！

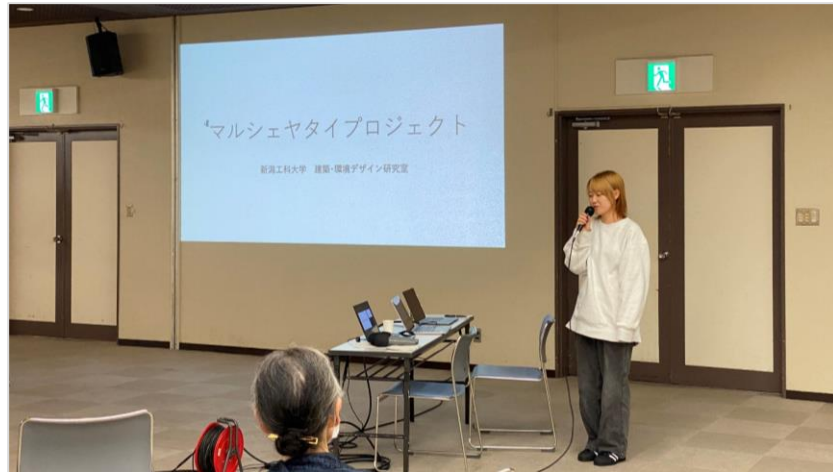
● 土台作り (2020年度) ● つくる (2021年度) ● つかう・参加する (2022年度) ● 見つけ・動かす (2023年度) ● 開館後

「食アンカー」の紹介

食アンカー

飲食を提供するだけでなく、施設やまちの日常の一部として、憩いと交流が生まれる空間

3. At！おぢや発プログラムの告知：新潟工科大生（19:18～19:25）



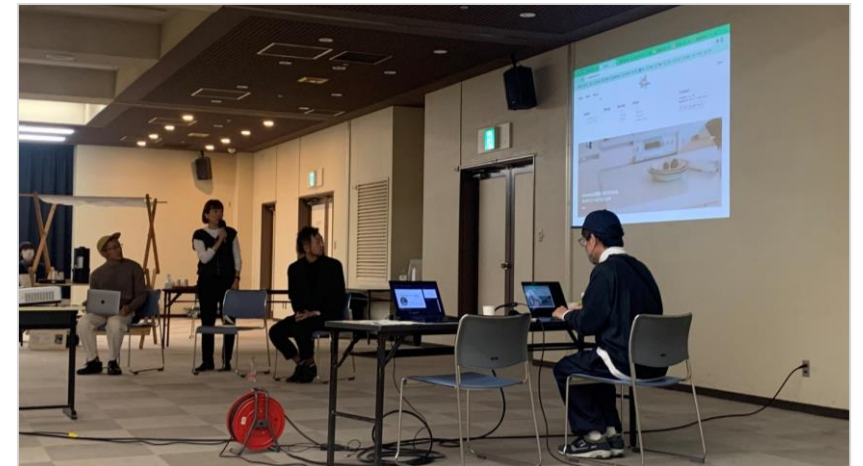
at！おぢやに参加している新潟工科大学の大学院生の一人から卒業制作として取り組んでいる「マルシェヤタイ」についての紹介も行いました。手軽に購入できる素材で簡単に組み立て持ち運べるというコンセプトで「ホントカ。」とも連携した展開を予定しています。



4. ゲスト紹介 (19:25~19:50)

5. 座談会「カフェ×ひと・まち・文化～交差点をつくる～」 (19:50~20:55)

6. まとめ



ゲストである「NISCIRO」吉井和樹さん、(株)スティルウォーター青木佑子さん、
Ordinary Coffee Roasterの齋藤佑二さんの3名を紹介した後、
公共施設におけるカフェの可能性や今後の展望について、参加者との質疑も交えながら座談会を行いました。

